

日刊動労千葉

86. 6. 9

No. 2261

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四七二(22)七二〇七

再就職の保証もない、既成事実づくりの強行 2万人「希望」退職強要許す

自民党—国鉄当局の手先となって 首切り・法案成立に血道あがる動労革「粉碎」

国鉄当局は、先の通常国会において成立した国鉄関連法案の「緊急特別措置法」に基づいて約二万人の希望退職者を今年中に募ろうとしている。さらに、二日の衆院解散に伴い、いったん廃案となったのこりの関連八法案を総選挙後の特別国会に再提出して中曽根・三塚は「七月末にも法案審議に入る」として、十月までに強行成立を目論んでいる。ここで「特別措置法」をはじめ関連九法案がいかにデタラメでペテンとデマのかたまりであるのかを暴露していく。そして、国鉄内にあつて法案成立のために分割・民営化の既成事実づくりに血道をあげる動労革マル松崎を関連法案もろとも粉碎せよ。

再就職など、どこにあるのだ

退職金の上積みと条件に今年度中に辞める職員を募る「希望退職」計画について当局は募集目標・二万人、今月三十日から募集開始し、第一次分として九月三〇日までとしている。当局は、これを「国鉄改革のカギを握る余剰人員対策の重要な柱」と位置づけながらも、希望退職を目標通り達成するには「再就職先確保がカギ」だなどと全く無責任かつ無展望なはなしなのだ。

この「希望退職計画」は、希望退職二万人の首切りを六一年度中に強行するために、ほんのわずかな退職金を上乗せしようとするペテン的な十万人首切りの突破口としてあるのだ。それは、賃金の十カ月分をやるから辞めろというのだが、円高影響などで民間雇用も困難な時、いったい退職を希望する労働者などどこにいるというのか。動労革マル、鉄労などは、この「計画」を積極的に受け入れ、組合員を強制的に退職においこもうとしている。「真国労」革マル副委員長・塚田某などは「五十以上は全員辞めてもらいたい」と言っているのだ。

家族10万人余を路頭に
放り出す退職強要だ!

二万人の「希望退職者」は、国鉄を辞めてどうするのか。再就職しなければ労働者は生きていけない。円高不況、失業・倒産の中で二万人を国鉄当局は「職業安定所」を設置して国鉄関連企業に放り込もうとしている。労働条件は、一挙に劣悪になるばかりか、関連企業で働く労働者二万人を玉つきの首切りに追い込むのだ。

中曽根は、分割・民営化が法でも制度でもないときから分割・民営化にむけた合理化・首切り攻撃をおしすすめ、既成事実づくりを先行させ、法案成立を強行しようとしてきた。法をも無視した「同日選」暴挙に見られるように「法」の名のもとに法を平然とふみにじる中曽根が「法」の名のもとに、どんなデタラメをやるか、いかに法を乱用し、職権をふりかざし、暗黒政治を行うかは目に見えている。議会で「希望退職は強要しない」などと、いくら確認しても中曽根・杉浦・松崎は首切りを強制してくるのだ。

今こそ国鉄労働者三十万の総力で
国鉄法案の強行成立を阻止せよ

中曽根は、何んとしても法案を通そうとしている。そのためには社会党を分裂状態にたたきこまなければならない。そこで、中曽根の意を受けた動労革マル松崎は、総評・社会党の内部から国労解体を叫び、総評・社会党をガタガタにしようとしている。そのあげく鉄労と合体しようというのだ。

法案成立に手をかす動労革マルを打倒し、国鉄労働者は全力をふりしぼって国鉄法案粉碎の闘いに起とう。

「骨身けずる運動に年輩者はじゃまが
「気まづくさせて、どんどん追い出せ」とイリを煽る

有利な条件のもとで
再就職の道も拓く

第四に、退職勧奨の推進ということで、これもまた、よく確認されたという事です。
国労などから見れば、組合が退職勧奨することは本当に労働組合といえるのか、という。まことにオメデタイ発言です。……(略)

「積極的に推進する」という箇所に疑問・反発もあるでしょう。しかし、いまみんなが苦勞し、骨身を削ろうとするときに、五五歳以上のの人たちに同じように進めることができるでしょうか。もちろん、特殊にはいろいろあるでしょう。ま

た確かに、雇用安定協約も締結されており十分やっています。むしろ問題は、職場の中でやめなければいけないような雰囲気がつくられたりすれば、年輩者の方が気まずい思いにかられるかどうかという点ではないでしょうか。とすれば、その人たちの生計の道を考え、本当に安心して退職できるための次の職場などを確保することのほうが、むしろ、組合としては親切というものではないでしょうか。組合が退職勧奨する、当局と一体となってやめる、というように考える前に先輩の皆さんのおかれた状況をよまえてみてはどうでしょうか。……(略)……
革マル鈴木真一(田端支部委員長)の本年旗びらき講演の中の二節より